

文学・歴史科 I 年間カリキュラム (平成30年10月～31年9月)

1/2

※講師や教室の都合などで一部変更することがあります

年	月	日	講座	テーマ	講師	概要	
30	10	17	開講式	記念講演「病気はあなたの生活から生まれる」	大阪大学名誉教授 佐古田 三郎	カレッジ部門合同開講式	
		23	社会貢献	第一部生涯学習 第二部オリエンテーション	大教大名誉教授 関 隆晴	生涯学習の学び方。お互いが仲間となり、より親くなるためのアイスブレイク (他己紹介)	
		30	古典文化	文楽を楽しむために —どんな芸能か	京都芸大名誉教授 後藤 静夫	文楽の名称、成り立ち、構造、戯曲・音楽の特長等を映像・音源を用いて概説します	
	11	6	近代文学①	近代文芸の成立 森鷗外文芸の魅力	関学大名誉教授 細川 正義	『舞姫』で始まる鷗外文芸の意義を『阿部一族』『山椒大夫』から探る	
		13	古典文化	近世戯曲の特徴と 鑑賞に向けて	京都芸大名誉教授 後藤 静夫	近世戯曲としての文楽義太夫節を中世芸能・能と比較するとともに、鑑賞の手引きを概説します	
		20	近代文学②	夏目漱石文芸の意義 近代日本への問いかけ	関学大名誉教授 細川 正義	イギリス留学から帰国後開始した漱石文芸の意義を『吾輩は猫である』『草枕』『三四郎』で探る	
		27	歴史	文化財保存の現状と 作業現場	元興寺文化財研究所 副所長狭川真一	元興寺文化財研究所にて、文化財保護の歴史を解説後、実際の保存修復の作業の見学	
	12	4	自主企画	研修旅行 (日帰り)	アシスタント・ 講座生みんな	初めての研修旅行、文学・歴史科に相応しい企画で新しい仲間と一緒に過ごす楽しみを	
		11	歴史	緒方洪庵と適塾	大阪大学大学院教授 村田 路人	幕末の医学者緒方洪庵の事績と、洪庵が創設した適塾について紹介し、その歴史的意義を考えます	
		18	近代文学③	島崎藤村文芸の意義(1) 浪漫詩人藤村	関学大名誉教授 細川 正義	新体詩集『若菜集』で浪漫主義の詩人として登場した藤村詩の魅力を探る	
	31	1	8	教養 音楽 (合同)	“音楽の都”ウィーンに 花咲いた作曲家たち	大阪教育大学教授 中務 晴之	19世紀のウィーンにおける音楽シーンを検証し、その魅力に迫ります
			15	近代文学④	島崎藤村文芸の意義(2) 自然主義作家藤村	関学大名誉教授 細川 正義	漱石に絶賛された『破戒』で小説家として注目された藤村の〈生肯定〉の力強い生き方を作品から探る
22			古典文化	能を「知る」 ～基礎から学ぶ	大阪音楽大学講師 北見 真智子	六百年以上の歴史をもつ日本伝統芸能「能」。初回は歴史や面・装束、音楽など、基礎的項目も紹介	
29			歴史	江戸期庶民の子育て と教育	大阪府大名誉教授 山中 浩之	江戸期大阪周辺ではどのように出産・子育てが行われ、こどもをどのように育成しようとしていたのか	
2		5	古典文化	雅楽入門 雅楽・舞楽を知ろう	四天王寺大学教授 南谷 美保	雅楽の歴史やその楽器、演奏の場についての概説と、難波(なにわ)地に伝承された四天王寺舞楽を紹介	
		12	近代文学⑤	芥川龍之介文芸の魅力 初期の作品から	関学大名誉教授 細川 正義	漱石の『鼻』への賛辞で鮮やかに登場した芥川の鋭い人間観察眼と創作の意義を『老年』『羅生門』『或日の大石内蔵助』から探る	
		19	古典文化	能を「味わう」 ～名作探訪	大阪音楽大学講師 北見 真智子	より能を楽しむために、代表作品を取上げて鑑賞のポイントを解説。舞台鑑賞のお奨めを紹介	
		26	歴史	江戸時代の医学と ネットワーク	京都橋大学教授 有坂 道子	西洋医学を取り入れて発達した大坂の医学について、その特徴と交流ネットワークを紹介し	
3		5	古典文化	狂言を「楽しむ」 ～中世の笑い	大阪音楽大学講師 北見 真智子	能とともに歴史を歩んできた「狂言」。基礎項目や作品を通して魅力に迫る。鑑賞の見所も紹介	
		12	歴史	信長を苦しめた大坂本願寺、そして石山合戦	大阪歴史博物館 学芸課長大澤研一	戦国時代に勢力を拡大し織田信長の前に立ち上がった大坂本願寺と両者間の石山合戦の実像を読み解く	